

I 運営・展開

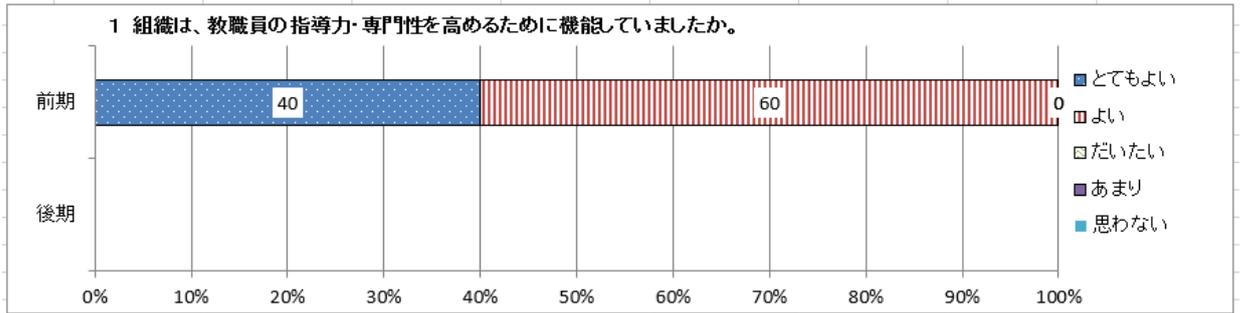
生徒の状況		自己評価 A	運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
「地域の中で愛される学校」へ、共に歩みを進める「チーム東」が機能している。自分と地域の未来を切り拓くための大館市民実践力が発揮されている。	前期	きわめて良好	きわめて良好	大変よい状態だと思われる。後期も引き続き頑張ってもらいたい。
	後期			

自己評価の概要と学校の改善策	<p>【前期】 評価指標 1 に関するアンケート項目において、アンケート 1 は 100%、アンケート 2 は 95% 以上の肯定的評価が得られている。アンケート 1 の結果から、組織が教職員の指導力・専門性を高め、その資質能力を高めた教職員により、更に組織が強化されていると伺える。前期の評価が自己満足に終わらず、学校教育目標や、目指す生徒像の具現化を目指し、チームとして更に向上していきたい。また、評価指標 2 においては、教師アンケートでは 95% が公肯定的であり、保護者アンケートは学年のばらつきはあるものの、良好と判断できる。後期も生徒のよさや頑張りを保護者や地域に発信し、つながりの強化を図りたい。</p> <p>評価指標 3 において、「真の美しさ」を支え輝かせるため、安心・安全な教育環境の整備と効果的・実効的な予算執行による教育活動支援が行われている。また、天晴れ横断幕やタオルマフラーをはじめ、地域に元気を届ける鳳雛（生徒）の活動を支援することができている。施設設備の老朽化は著しいが、引き続き教育環境の整備と各種教育活動の支援に努めてまいりたい。</p>
	<p>【年度（→次年度）】</p>

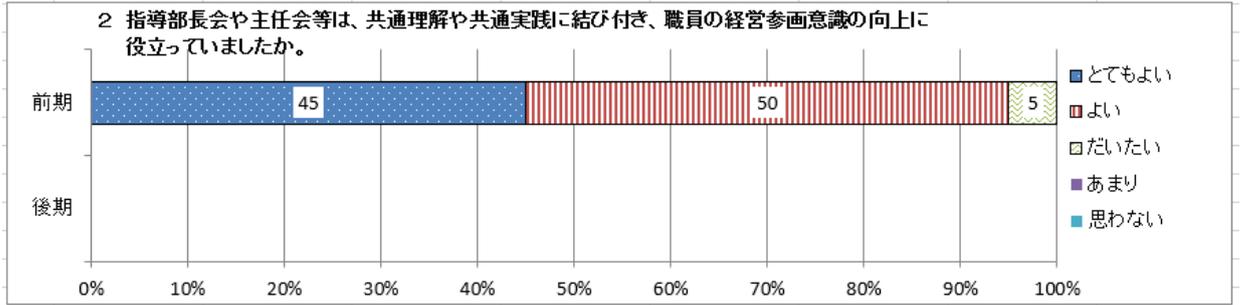
評価指標	実践課題	主な取り組み	自己評価 B	
			前期	後期
1 組織の活性化	(1) 同僚性と学び合う風土を兼ね備えた組織	教職員の指導力・専門性を高めるための人材育成を兼ね備えた組織づくり	5	
	(2) 経営参画意識の強化	指導部長会、主任会、ミニ研修会による共通理解・共通実践の強化		
2 地域の教育力	(3) 情報発信と地域連携の推進	メール配信や学校報での情報発信と地域活動推進による地域とのつながりの強化	4	
3 適切な予算運用	(4) 予算配分と計画的な執行	目標実現に向けた教育活動展開のための予算配分の工夫と計画的な執行	5	

【評価指標 1】組織の活性化

教師ア

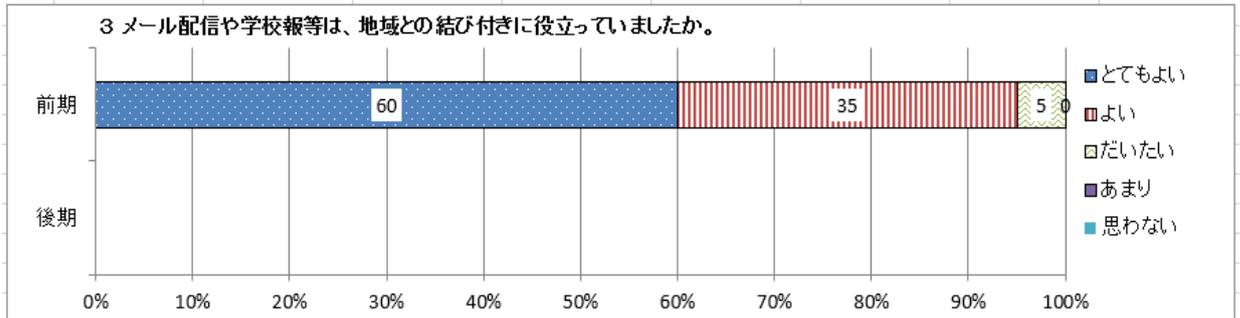


教師ア

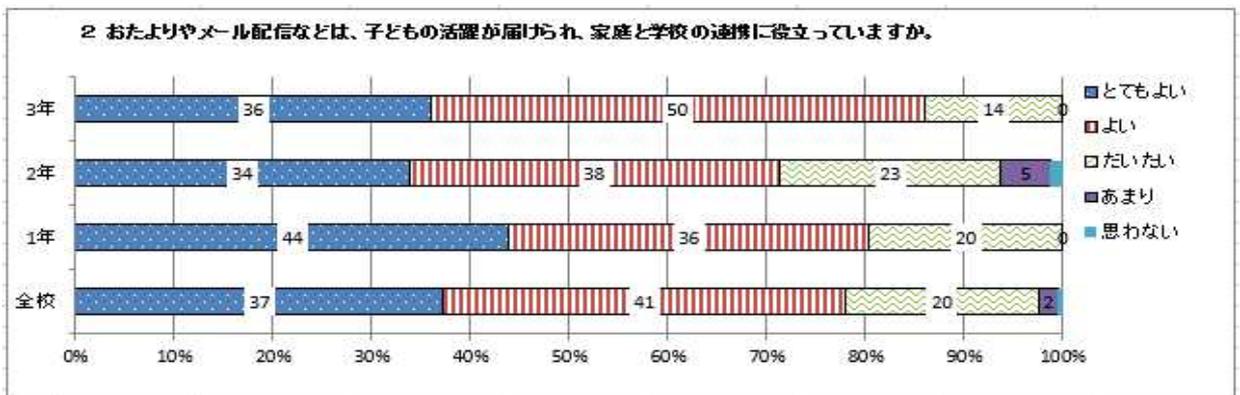


【評価指標 2】地域の教育力

教師ア

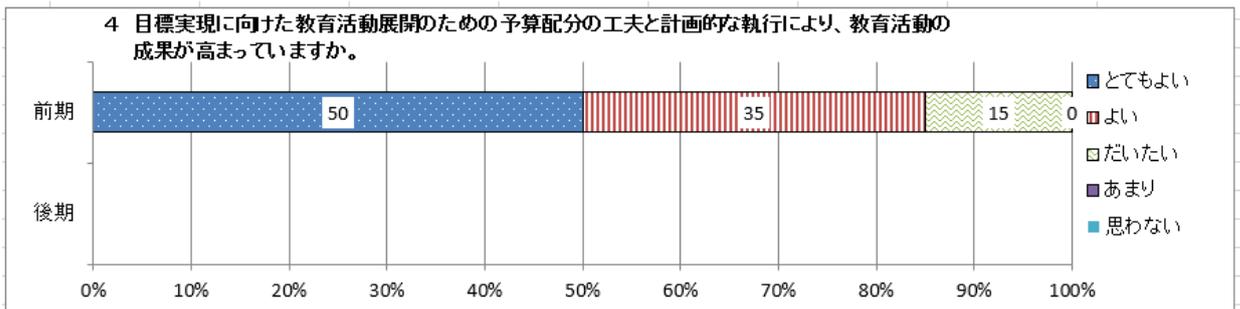


保護者ア



【評価指標 3】適切な予算運用

教師ア



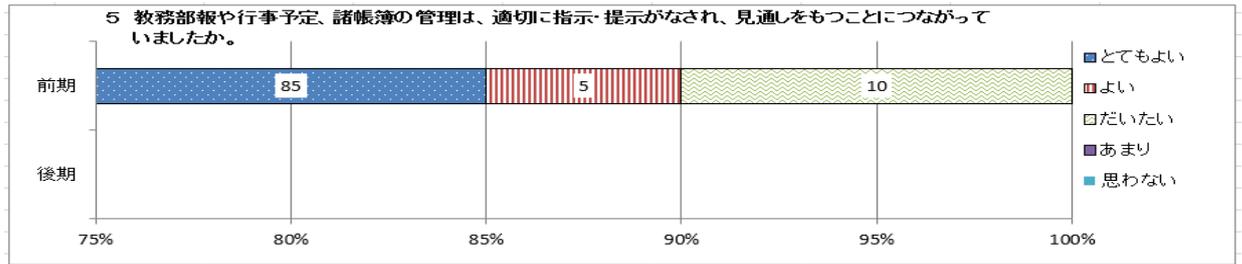
Ⅱ 企画・調整

学校の状況		自己評価A	運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
美しさを磨く校務部の調整が図られている。 授業改善に向けた課題がクローズアップされている。	前期	良好	良好	学校での取組を、PTAでも話してほしい。学校と保護者で共有することで、さらに子どもの成長が図られると思う。
	後期			
自己評価の概要と学校の改善策	<p>【前期】 評価指標4に関するアンケート項目全てにおいて、80%以上の肯定的評価が得られている。特に教師アンケート項目6では100%が肯定的評価となっており、本校職員全員が、各校務部の連携が図られていたと実感できる学校状況であったことがうかがえる。また、3年生の保護者評価においても90%以上が肯定的評価となっており、「学校の顔」である3年生の姿からも、学校のよい状況が各家庭に伝わっていることがうかがえる。これらは、教師が見通しをもち、生徒主体になるように常に仕掛け続けた結果であると考えられる。以上のことから「美しさを磨く校務部の調整が図られている」の状況は良好と判断した。</p> <p>後期は、学校行事や校内研修（研究授業）等の場がたくさんあり、校務部の調整がより一層重要になってくる。後期は3年生だけでなく、1・2年生の姿からも学校のよい状況が示せるよう、「美しさ」を追求した分掌運営に当たりたい。</p> <p>評価指標5に関するアンケート項目について、今年度、「東中学び方の約束」を生徒と共に創ることを試みた。今後も機をとらえて生徒に意識させ、働きかけることが必要である（生徒アンケート1）。授業構想力の向上と魅力ある導入の工夫については、研究の大きな柱の1つであるため、意識を高くもって取り組むことができている。引き続き、指定訪問研究会等を全職員の研修の場と捉えて、共通実事項を中心にした実践を積み重ねていきたい（教師アンケート7）。東中スタンダードの徹底については、周知徹底を図ることができていないため、肯定的な評価が低い。共通実践事項の1つである「キャリア発達につながる振り返りの充実」について、今後共通理解を図っていきたい（教師アンケート8）。</p>			
	<p>【年度（→次年度）】</p>			

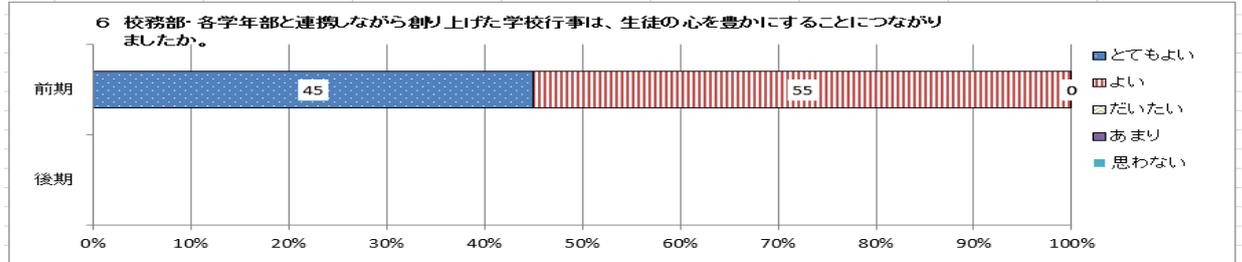
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
4 校務間の調整	(5) 活動を保障する見通しある提案学校帳簿管理	先を見通した早めの全体計画・予定の提示、学校諸帳簿の正確な作成と適切な管理	4	
	(6) 生徒を巻き込んだ学校行事の企画	校務部や学年部と連携し、心を育てる行事の企画		
5 課題のクローズアップ	(7) 授業構想力の向上	各教科の「見方・考え方」を明確にした授業構想と実践、魅力ある導入の工夫	4	
	(8) 主体的な学びを促す授業づくり	東中スタンダードの徹底、鳳凰タイムの展開		

【評価指標 4】校務間の調整

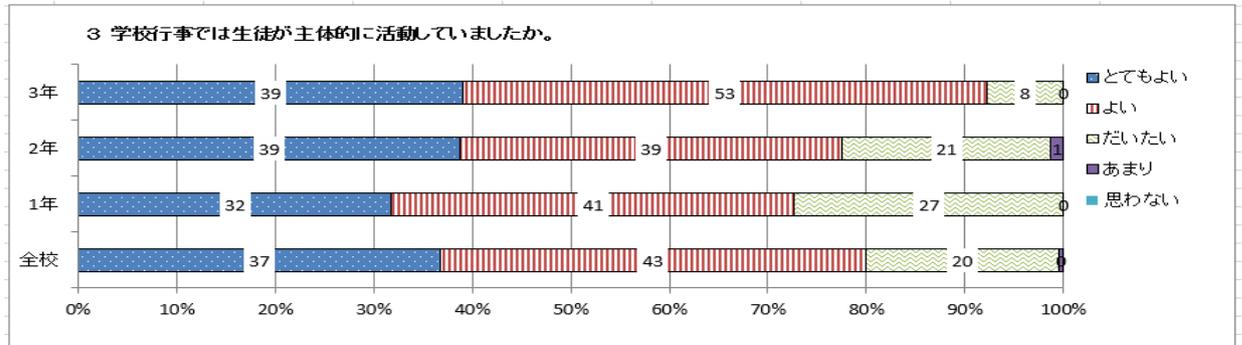
教師ア



教師ア

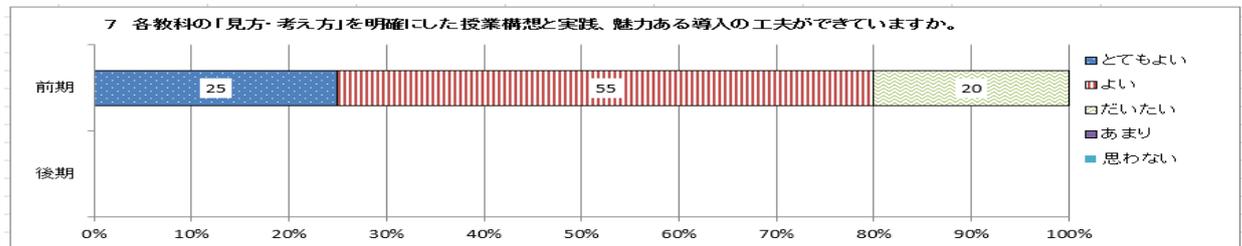


保護者ア

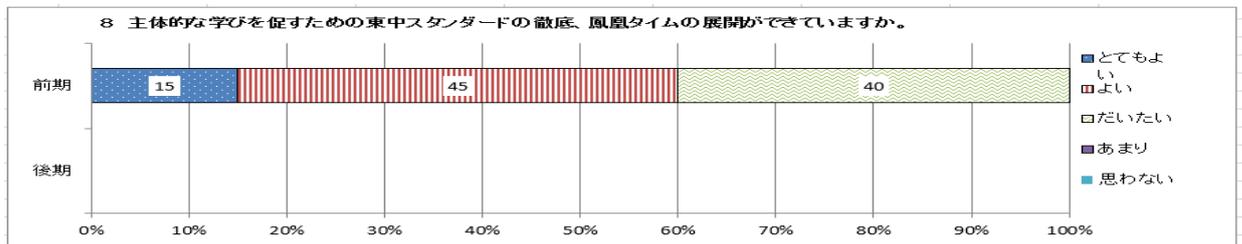


【評価指標 5】課題のクローズアップ

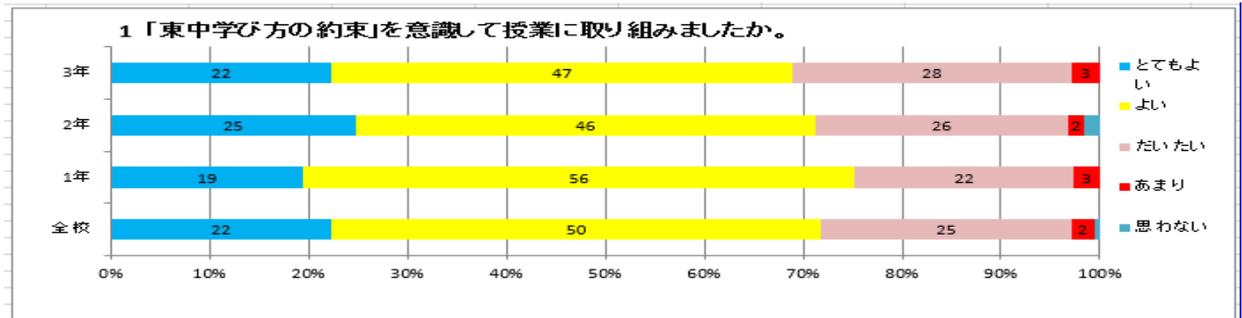
教師ア



教師ア



生徒ア



Ⅲ 主体的学習態度・基本的学習習慣

生徒の状況		自己評価A	運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
学びの体力と授業規律を身に付けるための指導に努めている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	東中の現状を目に見えるかたちで知りたいので、後期は全国学力テストや県の学習状況などの、結果を教えてほしい。
	後期			

自己評価の概要と学校の改善策

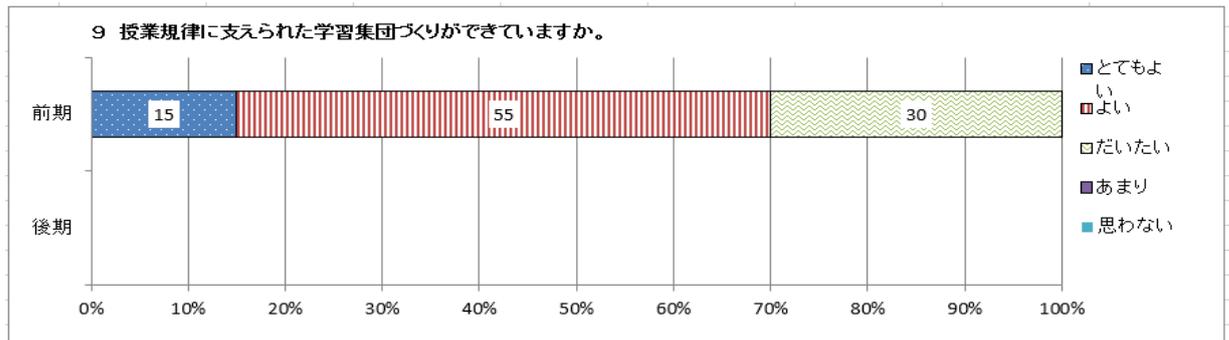
【前期】
 授業規律に関するアンケート結果は、肯定的な回答（「とてもよい」と「よい」）が教師70%、生徒72%、保護者60%となっている。教師と生徒の数値が7割を超え、生徒の数値が最も高い要因のひとつに、4月当初に全校で学習集会を開き、生徒たち自身が話し合いをして「学び方の約束」を作成したことにあると考える。生徒が学習規律を「自分ごと」としてとらえたことが功を奏していると考え。道徳の授業については、教師の肯定的な回答が70%、生徒の回答は82%となった。生徒の高い実践的意欲に応えられるような授業改善を、1学期同様に全職員で行っていきたい。

教育資源の有効活用については、ICT機器、図書室と学級文庫の利用共に、教師も生徒も肯定的な回答が25～30%程度にとどまっている。ICT機器に関しては、研究部と連携して授業での機器の効果的な活用を進めたい。学校図書に関しては、図書委員会を活用して、図書室の積極的利用の推奨を生徒の声で進めたい。

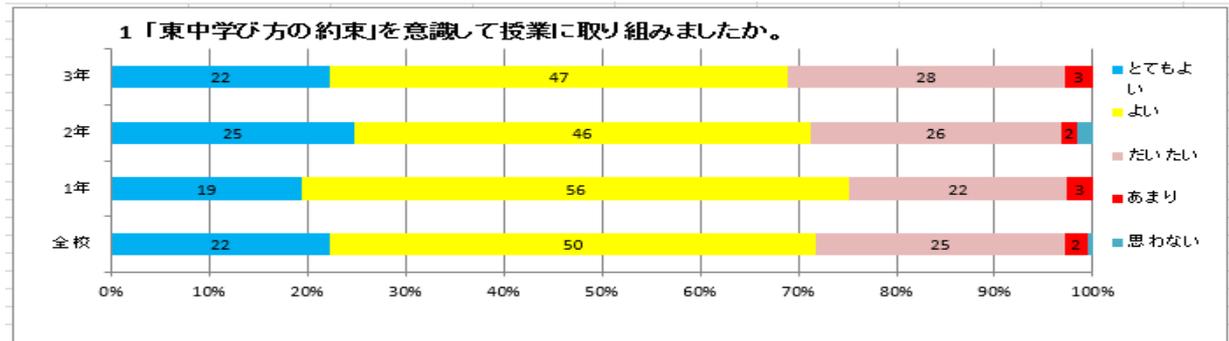
【年度（→次年度）】

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
6 学びの体力	(9) 主体的学習態度の育成	・ 学習規律に支えられた学習集団づくり ・ 「学び方の約束」の実践の徹底	4	
	(10) 道徳教育の充実	・ 指導方法、発問の工夫 ・ 考え、議論する道徳を目指した授業づくり		
7 教育資源の有効活用	(11) ICTの活用	・ ICT機器の保守管理と効果的な活用	3	
	(12) 図書館利用の促進	・ 図書館と学級文庫の効果的な利用		

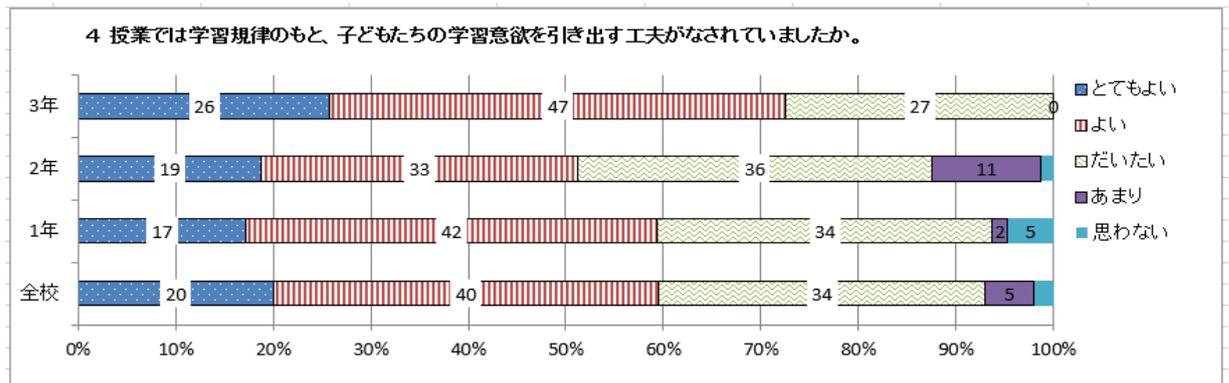
【評価指標6】学びの体力
教師ア



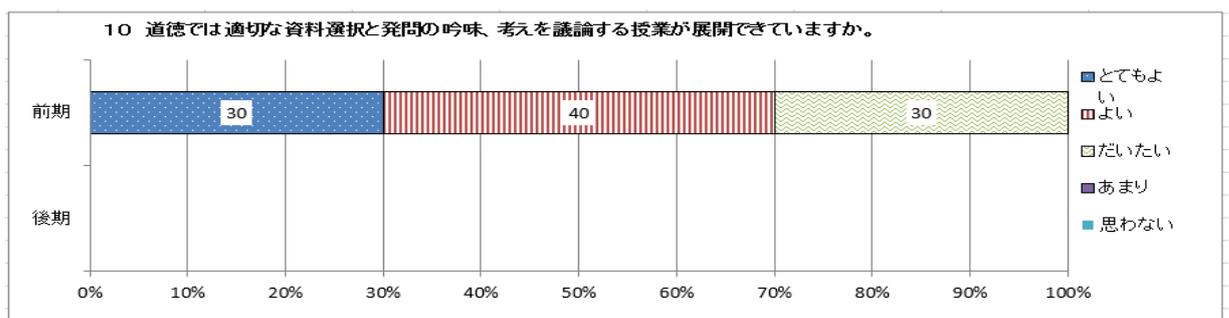
生徒ア



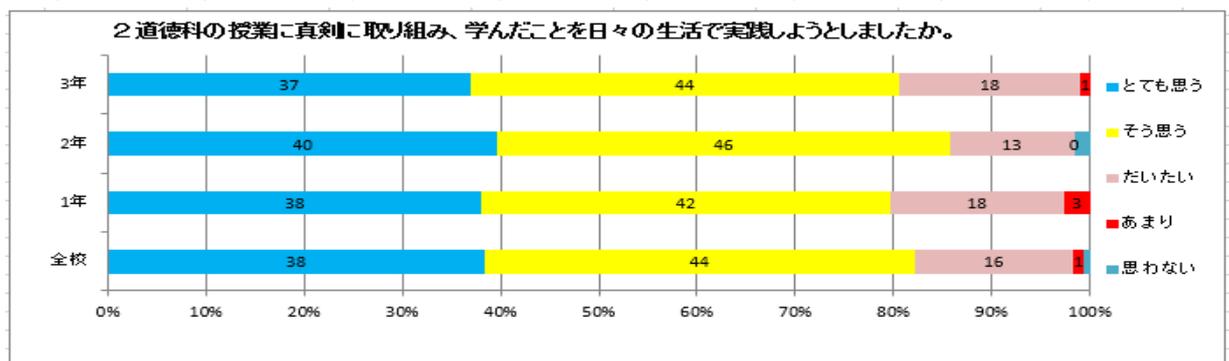
保護者ア



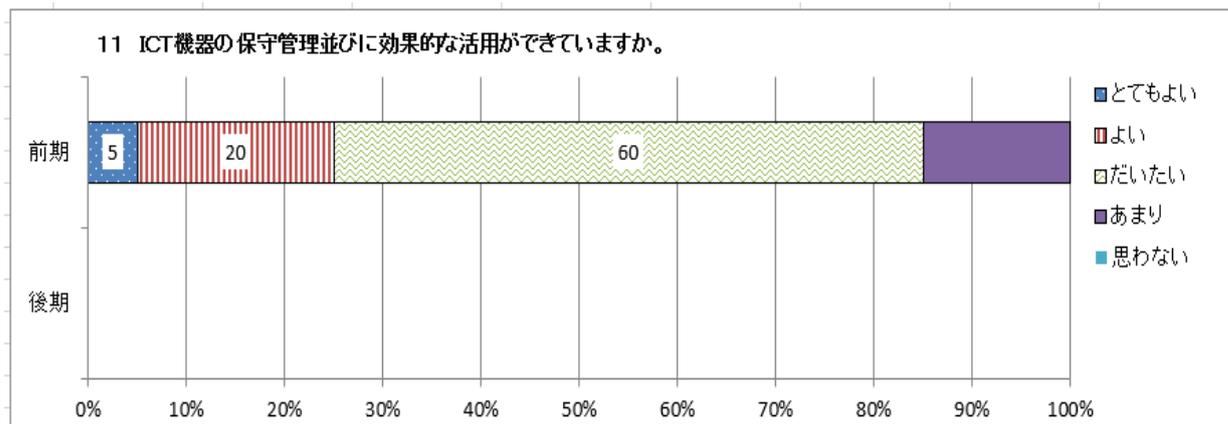
教師ア



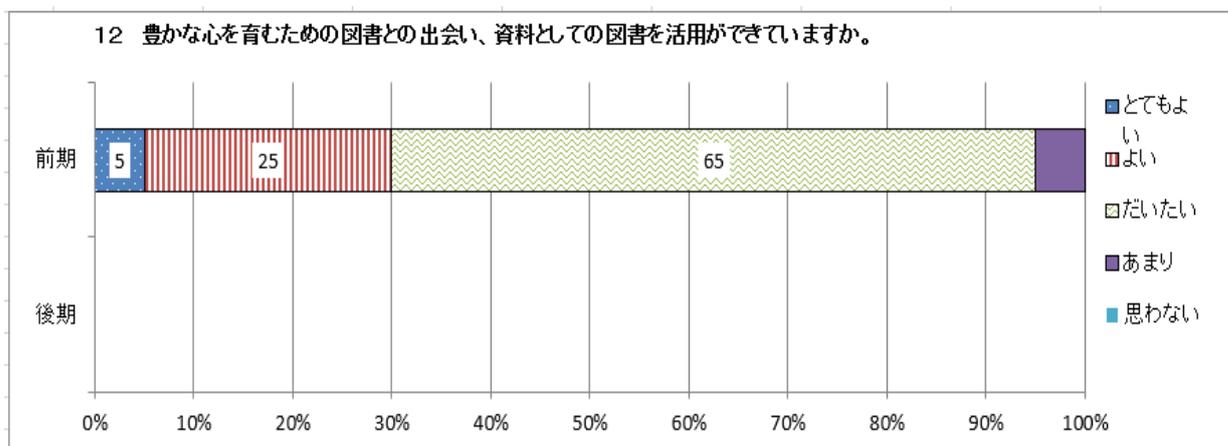
生徒ア



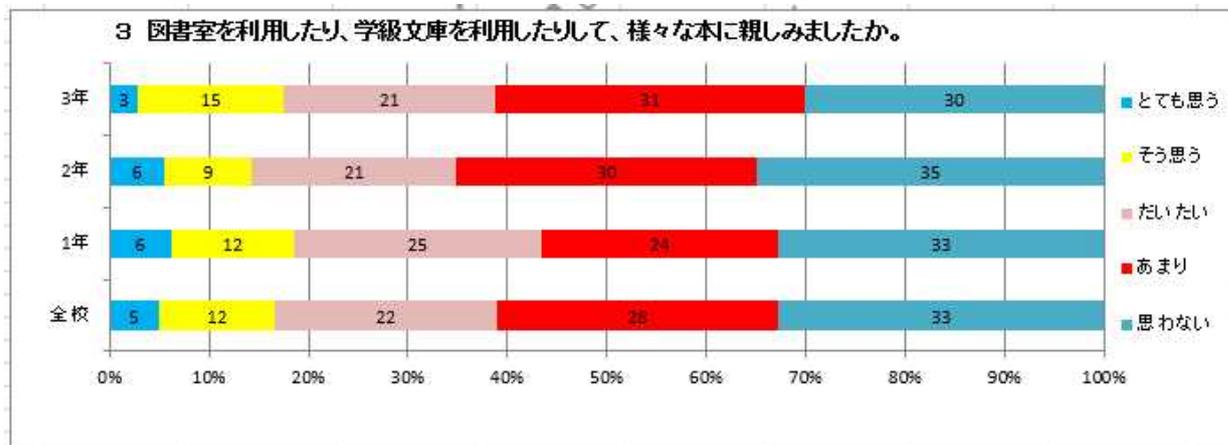
【評価指標 7】教育資源の有効活用
教師ア



教師ア



生徒ア



Ⅳ 自主的・自律的な生活、望ましい生活習慣

生徒の状況		自己評価A	運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
自己肯定感を高めるための指導に努めている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	元気なあいさつがとてもよい。生徒同士の関係も良好である。不登校生徒へもカウンセリングなどの対応もしっかりしている。後期はさらによくなることを期待している。
	後期			

自己評価の概要と学校の改善策

【前期】
 評価指標8の「基本的生活習慣の確立」に関するアンケート項目において、肯定的な意見が7割を超える結果となった。これは生徒指導共通実践マニュアルに基づいた指導と規範意識の確立、危機回避能力育成と事故防止対策、ライフスタイルの見直しと改善に関する取り組みの成果が出始め、自己指導力が向上してきた兆しと考えられる。しかし、規則正しい生活（睡眠・食事・メディアコントロール等）を送ることについては課題が残る。ただ、アンケート結果をみると生徒も課題意識をもっていることが散見されたため、より多くの生徒が自分事として取り組める手立てを他の校務部や生徒会、委員会と連携していきたい。

評価指標9の「部活動」に関する項目では、肯定的な回答が8割を超える教師の回答結果に対し、保護者は肯定的な回答が6割であった。また、保護者は否定的な回答が1割弱という結果になった。学校としての指導方針や活動運営方針を今一度確認し改善を図るとともに、熱中症予防や事故防止などの危機管理面の指導と対策を強化することで安心安全な部活動経営につなげたい。

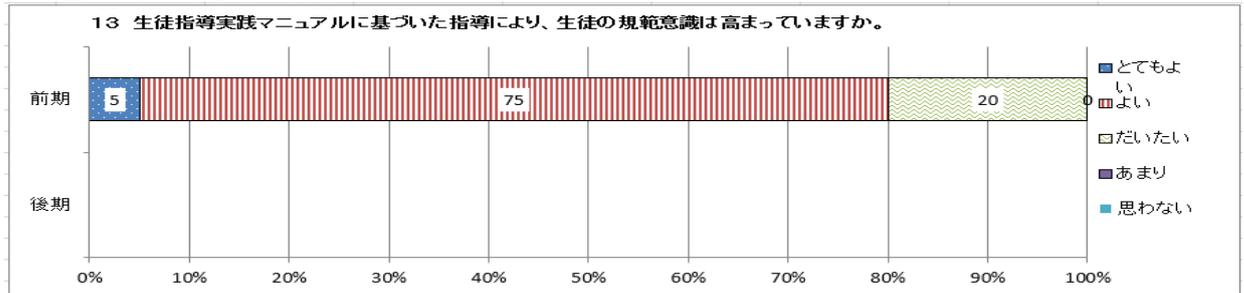
評価指標10の「教育相談の充実」に関する項目において、生徒は解決につながったという肯定的な回答が7割を越えていた。一方で、教師及び保護者は、研修や体制づくりに対する肯定的な回答が5～6割程度にとどまった。教育相談のための研修や体制づくりや、アンケートの活用方法の周知が不十分であることが考えられる。今後、改善を図っていきたい。

【年度（→次年度）】

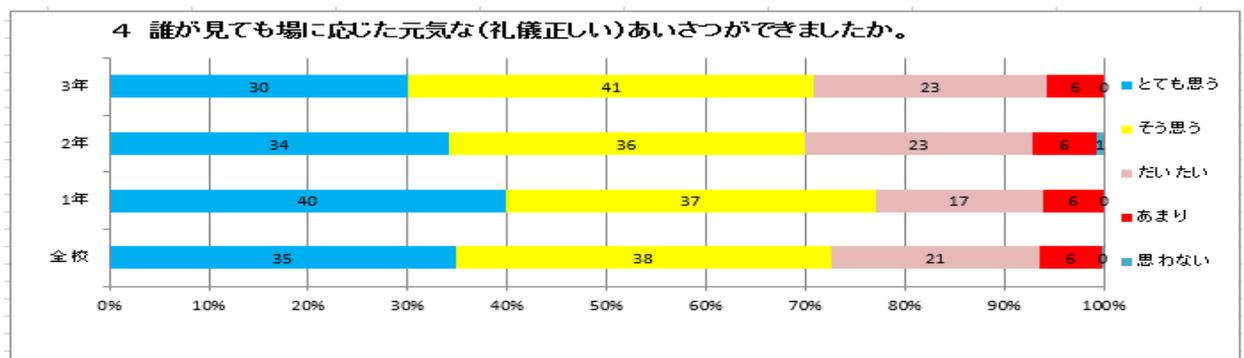
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
8 基本的生活習慣の確立	(12) 自己指導力の向上	生徒指導共通実践マニュアルに基づいた指導と規範意識の確立	3	
		危機回避能力育成と事故防止対策、ライフスタイルの見直しと改善		
9 健全で適切な部活動	(13) たくましさ、しなやかさの向上	地域展開を見据えた部活動指導の在り方	3	
10 教育相談の充実	(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解	多面的な生徒理解と組織的且つ効果的な教育相談の研修と体制づくり	3	

【評価指標 8】 基本的生活習慣の確立

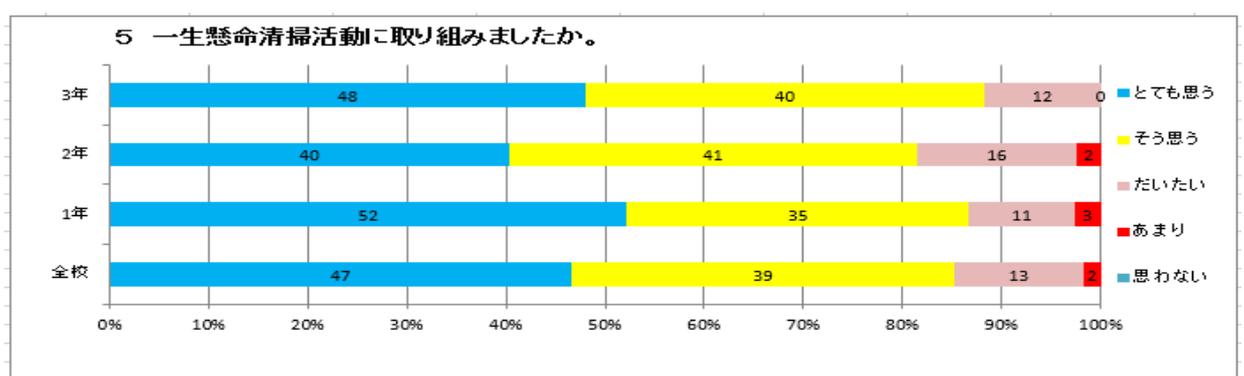
教師ア



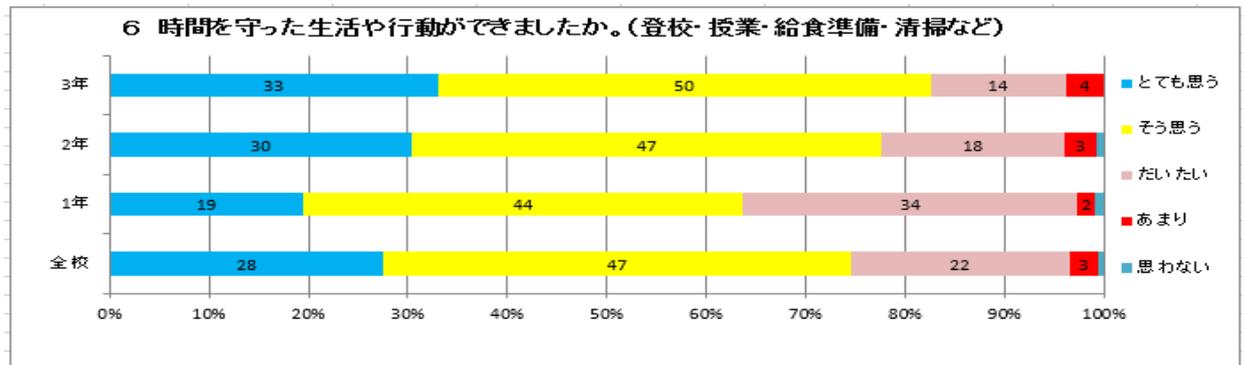
生徒ア



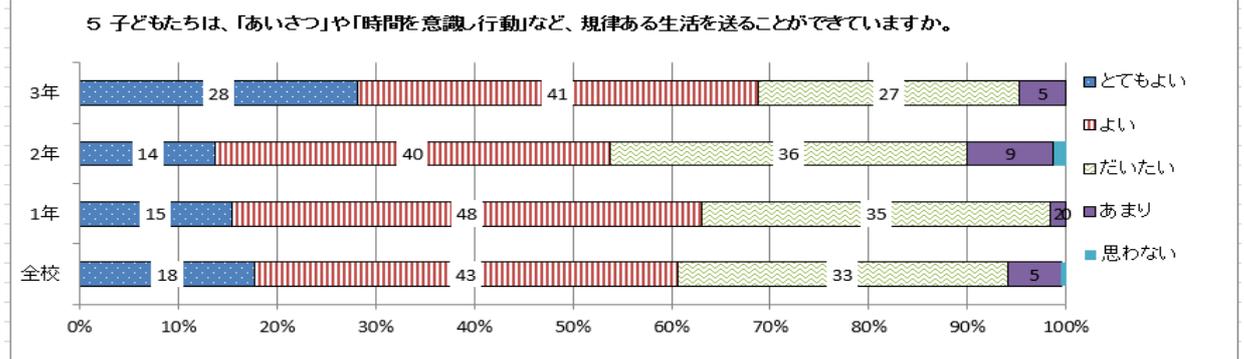
生徒ア



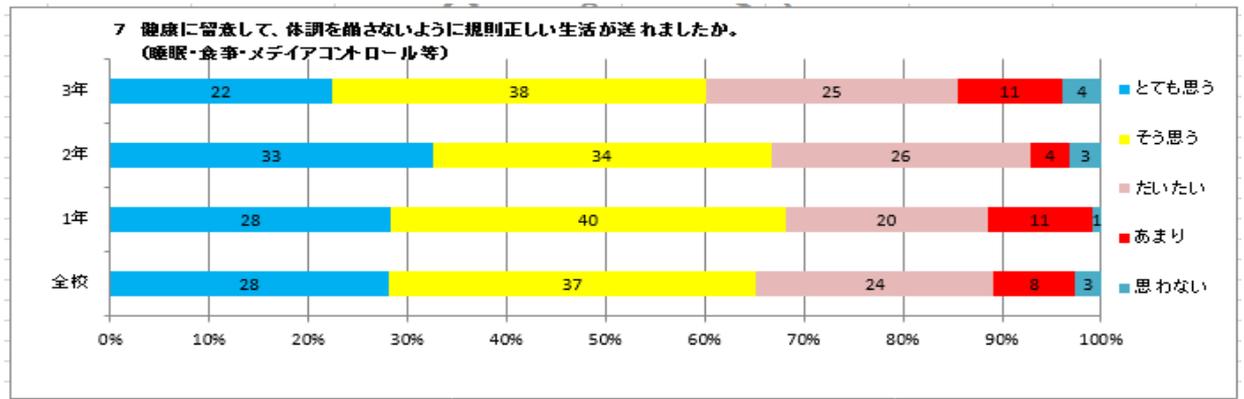
生徒ア



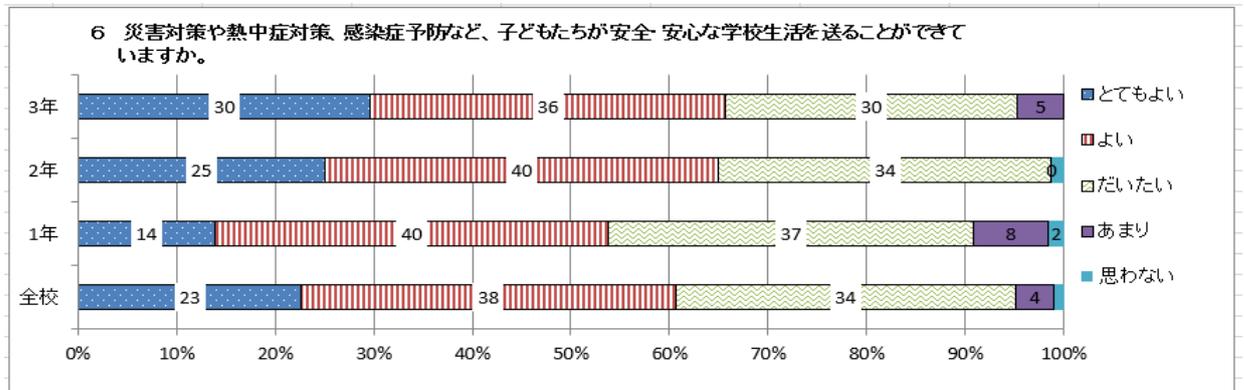
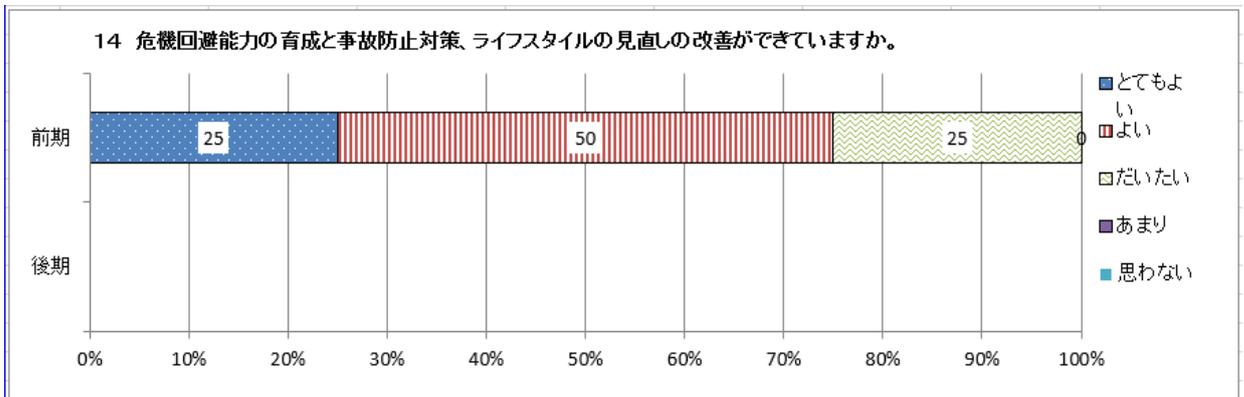
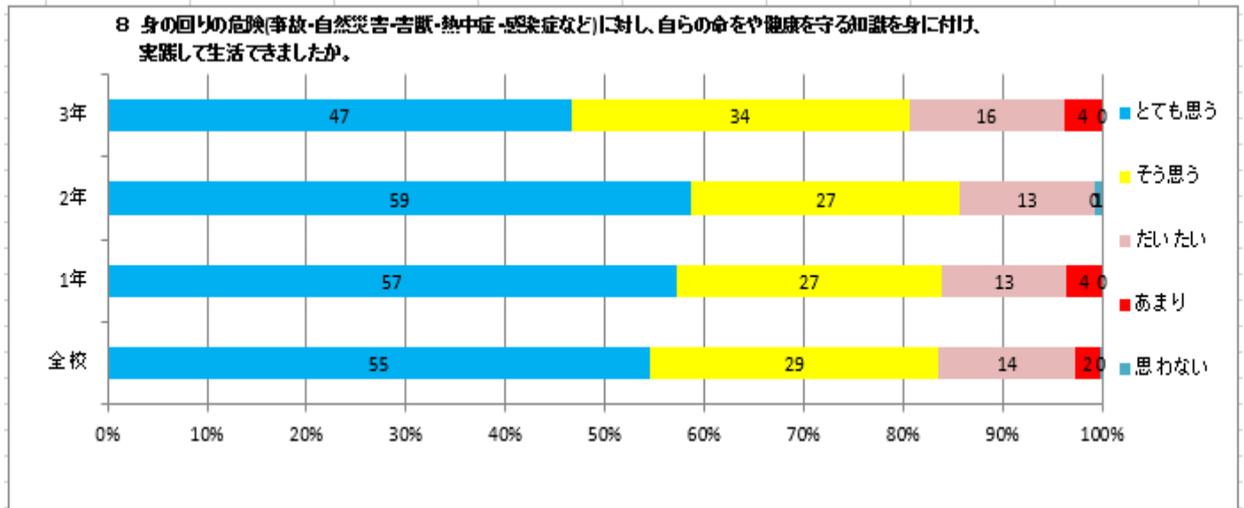
保護者ア



生徒ア

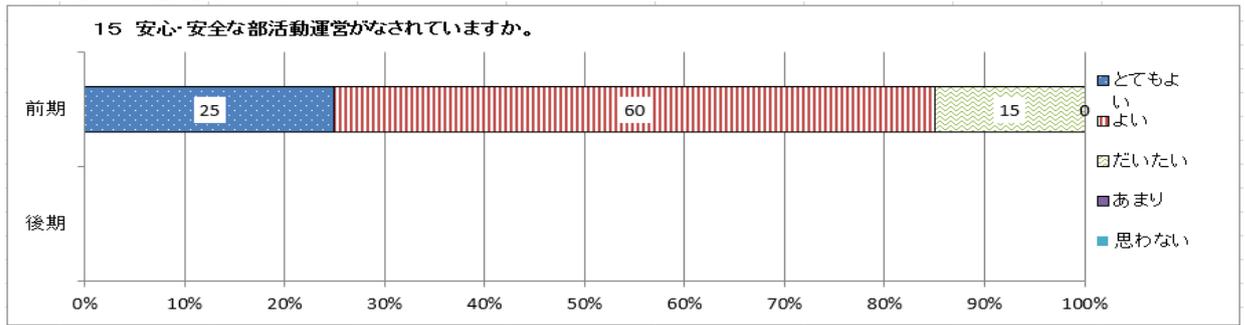


生徒ア

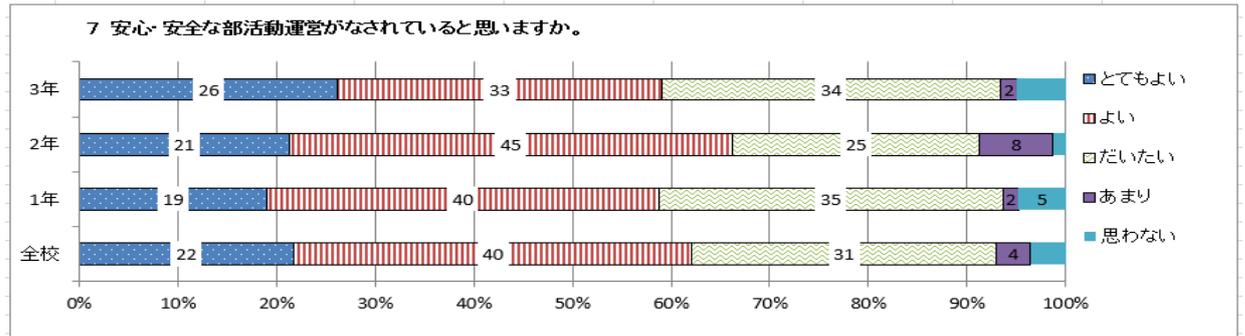


【評価指標9】健全で適切な部活動

教師ア

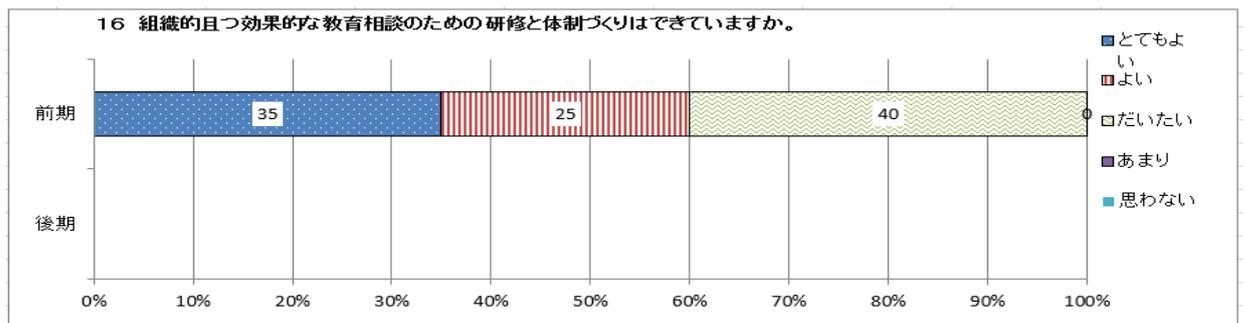


保護者ア

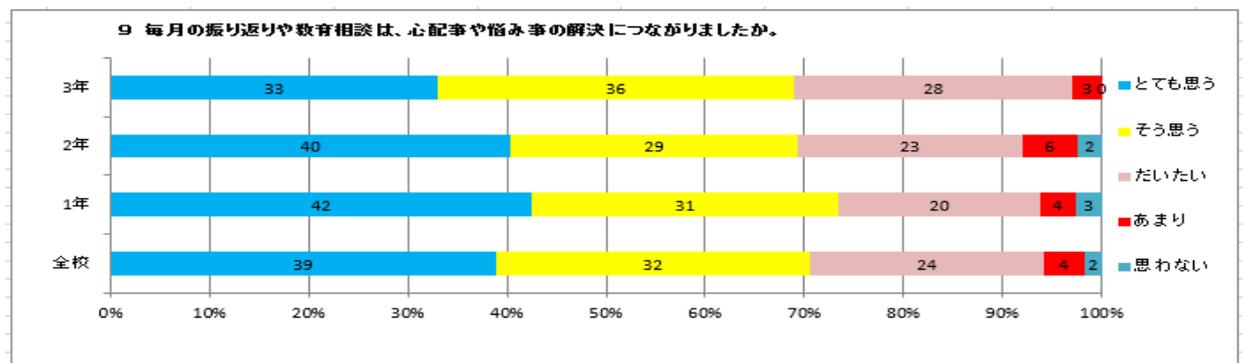


【評価指標10】教育相談の充実

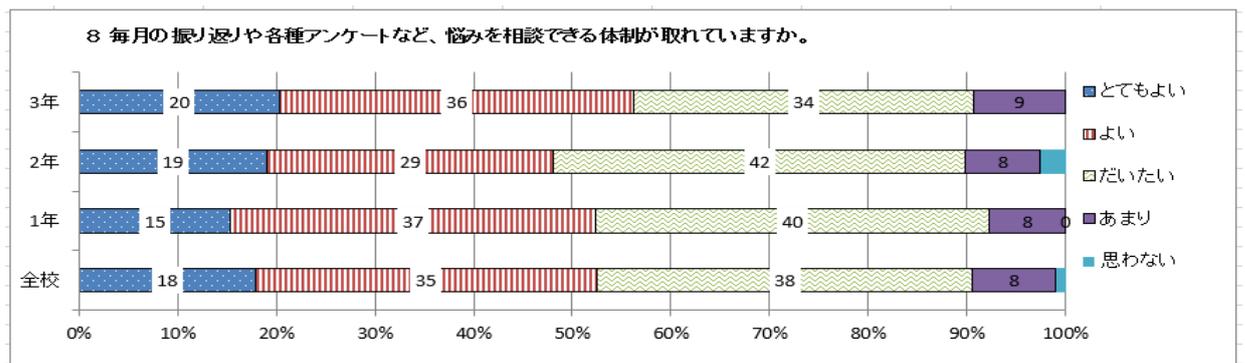
教師ア



生徒ア



保護者ア



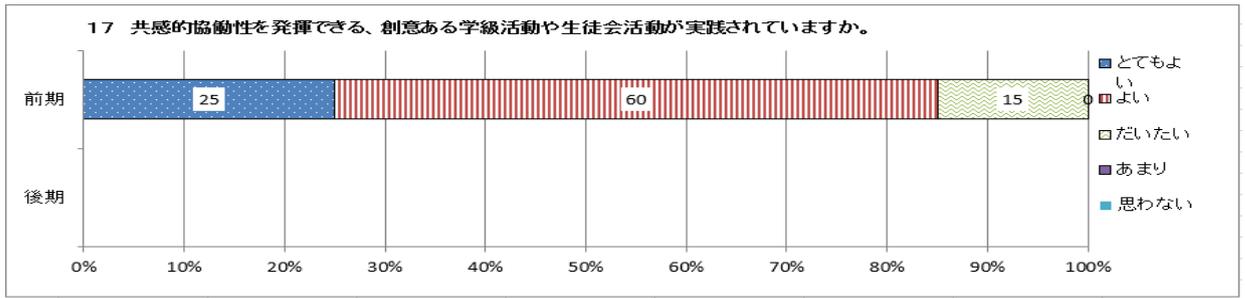
V 思いやりの心、たくましい心

学校の状況		自己評価A	運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
居心地よい集団づくりのための指導に努めている。	前期	良好	良好	生徒会活動でのボランティアの意識が高い。生徒自身が何をやりたいかを考え、実行できている。素晴らしい心が育っている。親の評価が低いのは時期も関係があるのか？後期に期待している。
	後期			
自己評価の学校の改善策	<p>【前期】※以下に示す「肯定的な回答」とは、とても思う・そう思うの割合の合計のことである。</p> <p>評価指標11に関して、生徒の肯定的な回答は92%と非常に高かった。友人と協力して様々な活動に意欲的に取り組んでいることが分かった。学級や学年、学校のそれぞれの社会集団の中で、居心地のよさを感じ、自分の役割を自覚して伸び伸びと活動できていると言える。</p> <p>評価指標12に関して、生徒の肯定的な回答は86%であるのに対し、教師の肯定的な回答は55%と生徒と教師の間に大きな差が見られた。進路指導は、高校入試と直接的に結び付けて考えてしまいがちだが、その指導は多岐にわたる。普段の学校生活で、自分や社会のこれからは目を向けさせる機会を大切にしたい。</p> <p>評価指標13に関して、生徒・保護者・教師の肯定的な回答は60~70%程度に留まった。東中三大自慢を胸を張って誇れるのかどうかという思いが、この数値に大きく影響を及ぼすと考えられる。誰かから与えられた「自慢」ではなく、自分たちで考え、取り組み、再確認し、高めていくことで矜持をもたせたい。</p>			
	【年度（→次年度）】			

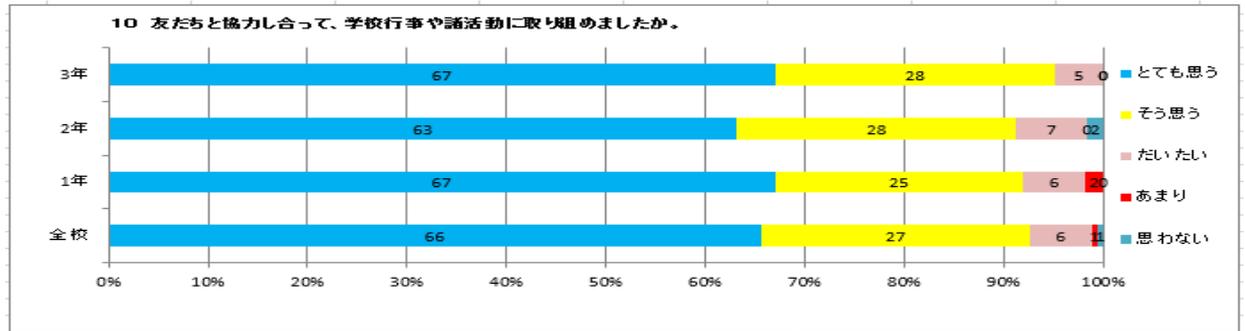
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
11 集団力を高める自主的・自律的活動	(15) 創意に満ちた学級・生徒会活動の充実	共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動や生徒会活動の実践	4	
12 自己理解の慎重	(16) 進路指導の充実	自分のよさや可能性を見だし未来を切り拓く資質・能力の伸長	4	
13 ふるさとを支える気概	(17) 持続可能な地域づくりへの挑戦	「東中三大自慢」や「鳳凰ダンス」で地域に元気を届ける活動の展開	3	

【評価指標11】 集団力を高める自主的・自律的活動

教師ア

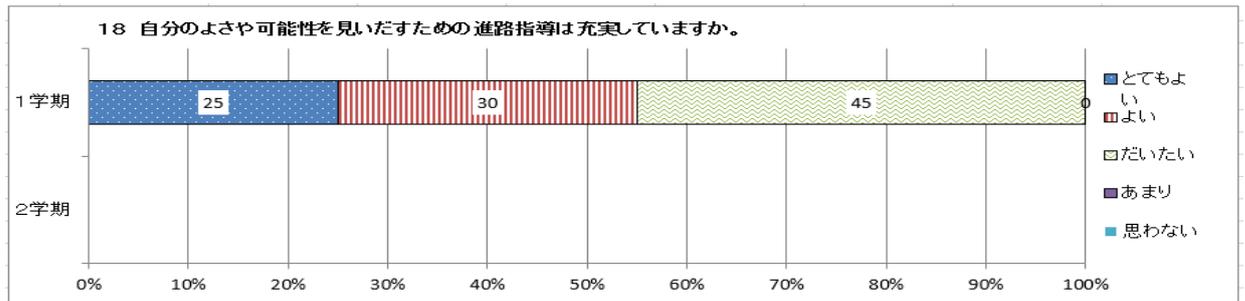


生徒ア

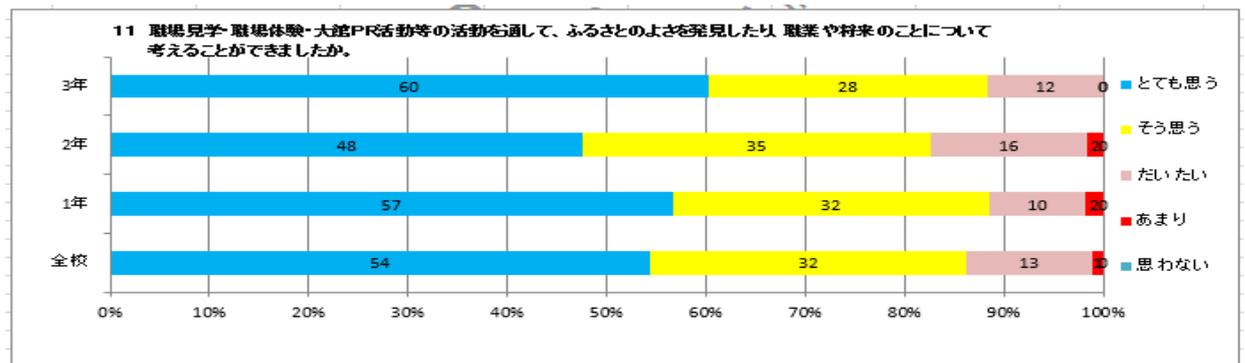


【評価指標12】 自己理解の慎重

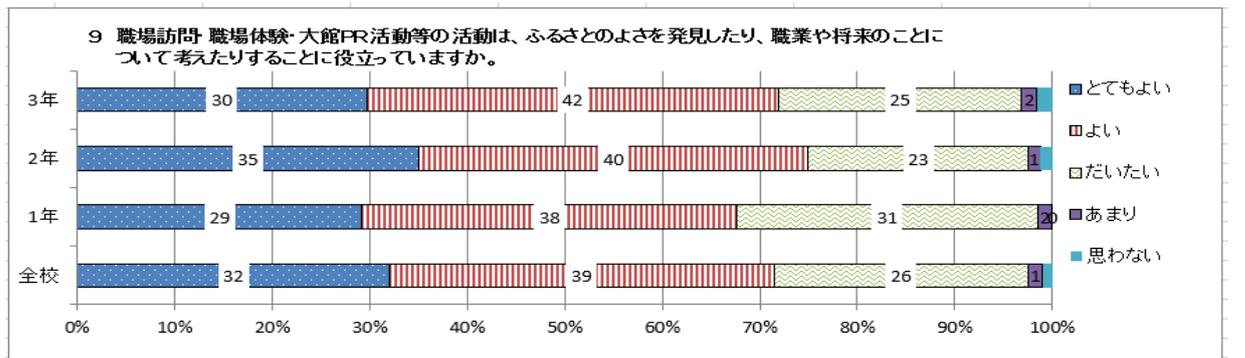
教師ア



生徒ア

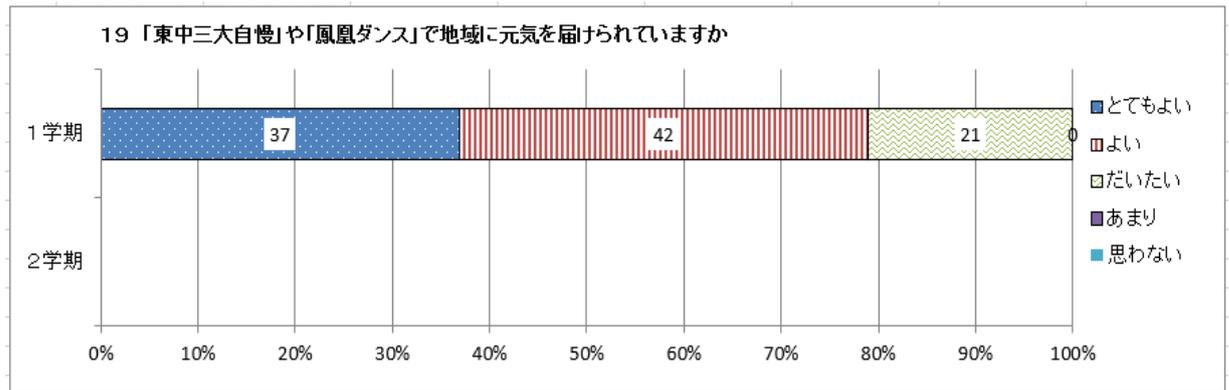


保護者ア

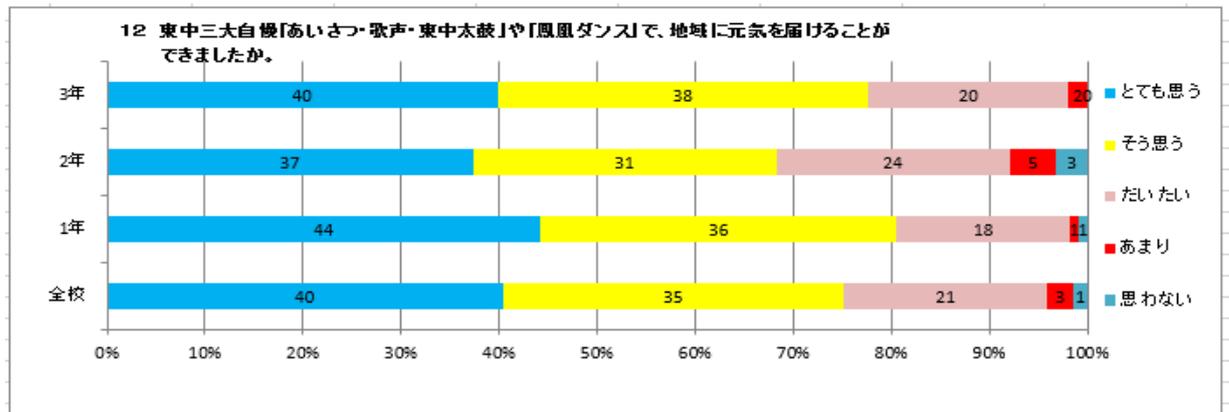


【評価指標13】ふるさとを支える気概

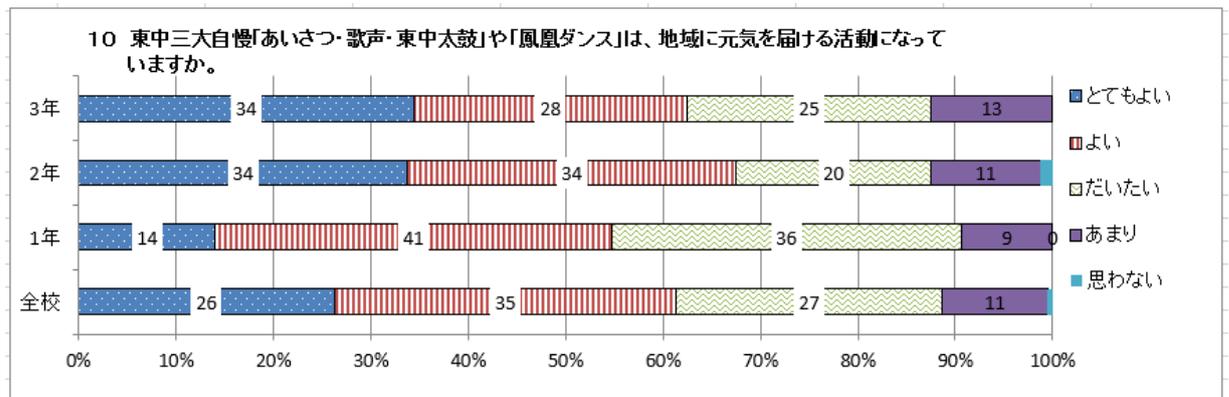
教師ア



生徒ア



保護者ア



自己評価 Aと外部 評価の評 価区分	きわめて良好	自己評価 Bの評価 基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対して100%達成
	良好		4	実現状況は良好で意識も高い／数値目標に対して80～99%以上達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対して60～79%以上達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対して40～59%
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対して39%以下の達成